

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	SK	学部・学科	理学部理学科
学 年	3 年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校		
期 間	2024 年 8 月 20 日～ 2025 年 5 月 21 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()				
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()				
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○				
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所 ◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫 ◎
滞在費	約 (176,370) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃				
移動	(スクールバス) で、約 (3) 分 *大学までの所要時間と移動方法				

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	45000 円	スーパー20000 円、レストラン 25000 円
学用品購入費	0 円	特になし
交通費	10000 円	マンハッタン 3 往復
交際費	10000 円	買い物、チケットなど
その他	30000 円	旅行、通信費

合計

95000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学周辺は、中流階級以上の主にリタイア済みの家族の住居エリアであるため、いつも静かで治安も良いです。大学内の危険な活動は特に耳にすることはありません。大学から電車で 2 時間のマンハッタンは、保険会社 CEO の射殺や地下鉄での突き落とし・放火など、凶悪事件がよくニュースになります。不審に思ったらその場から離れる、電車を待つ間は壁に張り付いておくなど、自衛によりできる限りリスクを減らすことが重要だと思います。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(103930) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	International Student Health Insurance Plan (SHIP)		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(381600) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ Stony Brook ） ストニーブルックはニューヨーク州ロングアイランド東部にある閑静な住宅地であり、周囲には戸建て住宅が多く、中流～上流階級の住民が多いため、非常に治安の良いエリアです。夜間も静かで、安心して生活することができます。大学周辺には大きなショッピングセンターや病院もあり、生活に必要な施設は一通り揃っています。 交通手段としては、Suffolk County Transit のバス路線 51 や、ストニーブルック大学のシャトルバスが利用でき、近隣のショッピングモール Smith Haven や、Target、Stop & Shop、Walmart などの大型店舗へのアクセスが快適です。また、最寄りの LIRR（ロングアイランド鉄道）ストニーブルック駅からは、マンハッタン方面へのアクセスも良好です。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ニューヨーク州立大学ストー ンブルック校	所在地	100 Nicolls Road Stony Brook, NY 11794
最寄空港	ジョン・F・ケネディ国際空港	空港からの距離	80 km
空港⇄大学	(AirTrain で Jamaica へ、そこから LIRR で Stony Brook に到着) *移動手段		
学生数	26000 人	留学生数	4400 人
学部	College of Arts and Sciences College of Business College of Engineering and Applied Sciences School of Communication and Journalism School of Dental Medicine School of Health Professions School of Medicine School of Nursing School of Professional Development School of Social Welfare School of Marine and Atmospheric Sciences *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	留学生は学部に配属されないが、私は主に College of Arts and Sciences の Chemistry course の授業を履修。 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	IAE101:Python による計算人 文学の授業	JPN475: 日 本 語 の TA	IAE101 CHE133: 化 学 実験の授業	JPN475	IAE101
午後		CHE358:Python による化学者向 けの数値解析の 授業 IAP390: 現 代 ア メリカ社会の授 業		CHE358 IAP390	Taiko Tides:和 太鼓クラブの 練習

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	CSE114:Java プログラミング の授業	GEO102: ア メ リカと世界の 地学の授業	CSE114	GEO102	
午後	JPN488:日本語 の TA	CSE114(Lab) HUR241: ロ シ ア映画の授業	JPN488:日本語 の TA CHE134: 化 学 実験の授業 Wolfie's big band:ジャズク ラブの練習	CSE114(Lab) HUR241: ロ シ ア映画の授業	Taiko Tides:和 太鼓クラブの 練習

3. 履修内容

科目	CHE 358: Computing in Chemistry		
履修期間	Fall	単位数	3
授業内容／形態	対面授業。大学院共通科目。コンピュータプログラムの設計、数値解析の基本的な要素について学ぶ。繰り返し作業の自動化、データのフィッティング、速度方程式の数値積分、信号解析、画像解析、量子化学などのトピックが含まれる。毎週の課題。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	IAE 101: Digital Intelligence		
履修期間	Fall	単位数	3
授業内容／形態	Zoom 授業。計算人文学の方法と理論の入門。Python を用いて詩や音楽などの芸術作品を解析・理解し、実用的かつ創造的な問題に応用する方法を学ぶ。2 週間に 1 回のコーディング課題。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	IAP 390: Rethinking America		
履修期間	Fall	単位数	3
授業内容／形態	対面授業。現代アメリカ社会とアメリカ史の概要。記事の読解、講義、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション、エッセイの作成を通して、現代の問題を考察する。事前に記事を読み、授業内で指定されるテーマで話し合う。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	CHE 133: General Chemistry Lab I		
履修期間	Fall	単位数	1
授業内容／形態	実験室での実験。物質の化学的・物理的性質、定量の技法、科学的方法論について学ぶ。実験前・後小テストとラボノートのカーボンコピー提出、最終グループプレゼンテーションあり。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	JPN 475: Undergraduate Teaching Practicum I		
履修期間	Fall	単位数	3
授業内容／形態	現地の教授に誘われて始めた、日本語や日本文化について学ぶ授業の TA。週 6 時間のオフィスアワーに訪れた学生に対して、日本語、必要に応じて英語を交えて会話練習をする。		
成績	S		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	CHE 134: General Chemistry Lab II		
履修期間	Spring	単位数	1
授業内容／形態	前学期に履修していた CHE133 の上位科目。実験室での実験。物質の化学的・物理的性質、定量の技法、科学的方法論について学ぶ。実験前・後テストとラボノートのカーボンコピー提出、最終グループプレゼンテーションあり。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	CIS 101: Climate Change and You		
履修期間	Spring	単位数	1
授業内容／形態	オンライン授業。この大学に在籍する様々な分野の気候変動専門家とともに、学際的な視点から気候変動に関するトピックを概観し、データに基づく気候変動の証拠から、政治的な処方、倫理的な意思決定までを学び、個々のキャリアや行動計画についても考える。		
成績	S		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	JPN 488: Internship		
履修期間	Spring	単位数	1
授業内容／形態	現地の教授に誘われて始めた、日本語や日本文化について学ぶ授業のTA。週 2 時間のオフィスアワーに訪れた学生に対して、日本語、必要に応じて英語を交えて会話練習をする。		
成績	S		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	CSE 114: Introduction to Object-Oriented Programming		
履修期間	Spring	単位数	4
授業内容／形態	対面授業。手続き型プログラミングとオブジェクト指向プログラミングの入門。プログラム構造、条件付きプログラミングと反復プログラミング、プロシージャ、配列とレコード、オブジェクトクラス、カプセル化、情報隠蔽、継承、ポリモーフィズム、ファイル I/O、例外処理の内容を含む。実習を含む。中間テスト 3 回と期末テストを含む。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	GEO102: The Earth		
履修期間	Spring	単位数	3
授業内容／形態	対面授業。地球と他の地球型惑星の表面物質、構造的特徴、内部の、研究から推測される形成過程について学ぶ。太陽系における地球、地球の物質と岩石形成プロセス、地表での活動と人間活動への影響、地殻変動とプレートテクトニクス、地球内部、地球型惑星の地質学的特徴、組成、進化を含む。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	HUR 241: Russian Cinema		
履修期間	Spring	単位数	3
授業内容／形態	Zoom 授業。歴史的、文化的、政治的背景を踏まえた現代ロシア映画の探求。映画の内容やスタイルを読み解き、分析する方法を学ぶ。トピックには、映画技法、ソビエトとロシアの歴史における主な出来事、さまざまな文化的・社会的問題の考察などが含まれる。この科目の TA をしている友人の紹介で履修。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	POL 102: Introduction to American Government		
履修期間	Spring	単位数	3
授業内容／形態	オンライン授業。アメリカ合衆国の憲法とその今日的意味、議会、政党、圧力団体、大統領、最高裁判所、司法審査、連邦制、三権分立、権利章典など、アメリカ合衆国政府の組織について学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

この 1 年間のニューヨーク州立大学ストーニブルック校での交換留学は、私にとって人生で最も充実した期間の一つとなりました。初めての一人暮らしや異国・異文化での学びを通じて、多くの困難に直面しましたが、その一つひとつが成長の機会となり、自分自身の可能性を大きく広げることができたと感じています。

学業面では、秋学期と春学期で計 12 科目を履修し、すべての科目で良好な成績を収めることができました。当初は授業についていけるか不安でしたが、積極的に質問し、計画的に学習を進めることで、自信を持って学びを深められたことが大きな成果です。特に、春学期には、グループプロジェクトやディスカッションが中心の授業を多く履修しました。そこでは、多国籍のクラスメートと協力しながら課題に取り組むことで、コミュニケーション能力や協調性を大きく向上させることができたと思います。また、TA として日本語を教える経験は、言語教育への興味を深めるきっかけとなっただけでなく、物事の概念を相手にわかりやすく説明するスキルを磨く貴重な機会となりました。オフィスアワーに何度も通ってくれる学生たちとは次第に親しくなり、今では学外に一緒に出かけたり、留学後も連絡を取り合ったりするような、かけがえのない一生の友達ができました。

生活面では、料理や洗濯などの基本的な家事から始まり、時間管理や人間関係の構築まで、多くのことを学びました。ルームメイトやクラブ活動を通じて出会った友人たちとの交流は、単なる異文化理解を超えて、一生続く絆を築く機会となりました。今まさに、留学中に会った友人が日本に遊びに来ており、私はガイドとして日本各地を案内しています。この後は彼の母国を訪れ、3 週間かけて観光する予定です。さらに 8 月には、別の友人がインターンで来日する際に自宅に招く計画も立てています。留学前は、自分がここまで変わり、世界中に大切な友人ができるとは夢にも思っていませんでした。

英語力については、留学当初はスピーキングやリスニングに苦労しましたが、日々の努力と友人との会話を通じて、着実に上達を実感できました。留学の最初のころからお世話になっている教授や友人から「英語が上達した」と認められたことは、大きな自信につながりました。また、冬休み中の家族旅行や友人とのメキシコ、ワシントン DC、フロリダ、アトランタ、シカゴ、セントルイス、フィラデルフィア旅行など、さまざまな場所を訪れたことで、北アメリカの多様な文化や自然に触れ、視野を広げることができました。

この留学を通じて、私は「挑戦することの大切さ」と「多様性を受け入れる心」を学びました。困難に直面しても諦めずに取り組む姿勢や、異なる背景を持つ人々と協力する経験は、きっと今後の人生においても大きな財産となるでしょう。

最後に、この留学を支えてくださった家族、友人、大学の先生方、グローバル推進室の皆様、そして現地で出会ったすべての方々に心から感謝申し上げます。この経験を活かし、将来は国際的な視野を持って社会に貢献できる人材となるよう、これからも努力を続けていきます。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学経験を今後の研究活動やキャリアに活かし、計算科学シミュレーションの専門家として、社会課題の解決に貢献していきたいと考えています。留学を通じて得た国際的なコミュニケーション能力と多様な価値観は、計算科学シミュレーションを活用した研究を進める上で、大きな強みになると確信しています。

特に、現在強く関心を持っている「社会インフラの維持」という課題に焦点を当てると、日本では高度経済成長期以降に整備されたインフラの老朽化が深刻化しています。首都高速道路の損傷や全国の橋梁の通行止めなど、具体的な問題が顕在化する中で、計算科学シミュレーションを用いた材料開発と劣化予測が重要な解決策となり得ます。留学で培った英語でのディスカッションスキルや国際的なネットワークを活かし、日本で学んだ計算科学の知識をさらに発展させたいと考えています。

さらに、この分野の研究は日本だけでなく、世界各国で将来的に直面する課題でもあります。多国籍のクラスメートと協力して課題に取り組んだ経験は、異分野連携の重要性が高まる計算科学の分野において、大いに役立つと思います。異なる専門背景を持つ研究者と効果的にコミュニケーションをとり、シミュレーション技術をさまざまな分野に応用し、研究成果をグローバルに発信することで、社会インフラの持続可能性に取り組んでいきます。

この留学経験は、私にとって単なる学びの場ではなく、将来のキャリアを形作る礎となりました。多様な文化や価値観に触れ、国際的なネットワークを築いたことで、研究者としての視野が大きく広がりました。これからも、留学で得た知識と経験を糧に、社会の課題解決に挑戦し続けるとともに、世界中の人々と協力しながら、より良い未来を築いていきたいと思っています。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学を考えている皆さんへ、私はこの 1 年間の経験を通じて、留学が人生を変えるほど貴重な機会だと確信しました。特にニューヨーク州立大学ストーニーブルック校での生活は、学びと成長の連続で、毎日が新鮮な発見に満ちていました。

ストーニーブルック大学は、学問的にも生活的にも充実した環境が整っています。キャンパスは広々としており、ジムや食堂、ゲームセンターや交流ラウンジなど、生活を充実させる施設が揃っています。授業は専攻の枠を超えて自由に選択できるので、自分の興味を広げるのに最適です。マンハッタンへのアクセスも良く、週末には気軽に都会の文化に触れることができました。何より、世界の中心とも言えるニューヨークで、多様なバックグラウンドを持つ学生たちと交流できるのが最大の魅力です。大学内のイベントも盛んで、自然と友人が増えていきました。

留学を成功させる秘訣は、とにかく積極的になることだと思います。最初は英語や文化の違いに戸惑うかもしれませんが、失敗を恐れずに挑戦してください。私も最初は緊張しましたが、少しずつ行動範囲を広げることで、思いがけない出会いや経験を得ることができました。

特に、最初のころは、現地のクラブ活動やイベントにどんどん参加することを強くおすすめします。外国人にももちろん趣味や嗜好の違いがあって、自分と性格の合う友人を見つけるのは簡単ではないです。秋学期の前半はみんな友達を探しているので、そのときがチャンスです。

留学前は不安も多いと思いますが、その分得られるものは計り知れません。異文化の中で生活することで、自分自身の新たな一面を発見できます。勇気を出して一歩踏み出せば、きっと皆さんも「留学してよかった」と心から思える経験ができるはずです。

この素晴らしい機会を、ぜひ大切にしてください。